

平成28年度関東女子倶楽部対抗茨城会場予選競技 組合わせ及びスタート時間表

(参加者 22倶楽部 ・ 110名)

期日：6月3日(金)

場所：江戸崎カントリー倶楽部 東コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	加藤 理香	セントラル	海野 美和子	霞台	玉置 知子	桜		
2	7:39	亀田 伊眞子	水戸	落合 敦子	玉造	志田 佐和子	富士笠間	樋口 美代子	阿見
3	7:48	萩原 初江	アスレチックガーデン	金 容花	日立	飯室 浩子	ワンウェイ	斎木 賀津子	ザ・レイクス
4	7:57	金 美恵	セントラル	澤邊 真由美	桜	小澤 貞子	JGM・やさと石岡	藤森 みどり	玉造
5	8:06	高岩 すみ子	ゴルフ5・サニーフィールド	西村 美希	セゴビア	山本 佳世子	大利根	上野 千津美	霞台
6	8:15	諸岡 幸江	金砂郷	沓澤 良子	江戸崎	皆川 智子	日立	橋本 泰子	ザ・レイクス
7	8:24	佐藤 咲月	阿見	見津 佳子	JGM・やさと石岡	柳井 ひろみ	ゴルフ5・サニーフィールド	津谷 いと子	日立
8	8:33	遠藤 ゆき子	玉造	弘中 千代子	筑波	北村 由希子	江戸崎	齋木 日奈子	穴戸ヒルズ
9	8:42	江渕 智恵子	金砂郷	柿沼 美佐子	アスレチックガーデン	倉片 史	ザ・レイクス	久光 眞由美	大利根
10	8:51	斉野 陽子	ワンウェイ	芹田 吉美	扶桑	大矢 邦子	霞台	坂巻 久美子	土浦
11	9:00	山室 美砂子	桜	金子 純	水戸	渡邊 常子	筑波	富田 ひろみ	アスレチックガーデン
12	9:09	安部 文子	穴戸ヒルズ	関 敏子	取手国際	富田 奈都	セントラル	八代 真喜子	土浦
13	9:18	佐藤 恵津子	扶桑	飛田 則子	金砂郷	田中 尚子	ワンウェイ	長嶺 光子	水戸
14	9:27	鹿志村 ちひろ	富士笠間	金島 政江	取手国際	上野 恵利子	江戸崎	大場 栄理子	セゴビア

10番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
15	7:30	大野 久江	取手国際	塚田 千恵子	JGM・やさと石岡	篠田 悦子	土浦		
16	7:39	増田 京子	筑波	平林 幸子	金砂郷	石川 洋子	ゴルフ5・サニーフィールド	荻野 裕子	江戸崎
17	7:48	上村 ひろみ	セゴビア	中井 恵理	穴戸ヒルズ	一倉 由香里	大利根	樋口 範子	扶桑
18	7:57	菊池 麻那美	富士笠間	大塚 麗紗	筑波	高井 智美	ワンウェイ	菅野 朋子	アスレチックガーデン
19	8:06	塚原 まき子	取手国際	中村 栄子	土浦	矢萩 えり子	水戸	鈴木 聡子	阿見
20	8:15	鈴木 麻里子	穴戸ヒルズ	横川 亜希子	扶桑	松山 朱実	セントラル	清水 米子	取手国際
21	8:24	金田 康子	セゴビア	志賀 裕子	扶桑	西島 典子	霞台	中野 百恵	水戸
22	8:33	遠藤 芳江	ワンウェイ	塚原 いずみ	桜	川尻 祝子	土浦	粉川 まさ子	富士笠間
23	8:42	半澤 憲子	JGM・やさと石岡	近藤 千夏	セントラル	永澤 里江	富士笠間	馬場 豊子	ゴルフ5・サニーフィールド
24	8:51	岡田 淳子	阿見	内田 美和子	江戸崎	今野 綾子	ザ・レイクス	横尾 公子	大利根
25	9:00	伊勢澤 秀子	玉造	小山 幸子	日立	飯嶋 裕子	セゴビア	那須川 まり子	金砂郷
26	9:09	梅田 美江子	筑波	西山 聖子	日立	西郷 薫	大利根	安田 紀美子	霞台
27	9:18	米村 晴美	桜	花木 栄子	玉造	椎野 厚子	ゴルフ5・サニーフィールド	小林 幸子	ザ・レイクス
28	9:27	濱松 由佳	JGM・やさと石岡	三浦 直美	阿見	八巻 千恵子	アスレチックガーデン	浅田 美輪	穴戸ヒルズ

競技委員長 原田町子

平成 28 年度 関東女子倶楽部対抗茨城会場予選競技

開催日 : 6月3日(金)

開催コース : 江戸崎カントリー倶楽部 東コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
- コースと不可分の部分
ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- ホールとホール間の白杭
5番ホール及び8番ホールにおいて、アウトオブバウンズの公道を越えて現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球はアウトオブバウンズの球とする。

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	416	125	285	355	352	134	318	487	324	2796
Par	5	3	4	4	4	3	4	5	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
494	335	305	145	278	370	147	375	470	2919	5715
5	4	4	3	4	4	3	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. 移動

『付属規則 I(B)8 移動』を適用する(ゴルフ規則 183 ページ参照)。

9. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

10. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 5 コイン(125 球)を限度とする。

競技委員長 原田町子